



○ 森の中では、水辺あたりから気の早い春が顔を出し始めます。

もちろん、陽当たりの良い斜面なども。そろそろ春が、動き始めます。 aiko.

都市公園で自然観察会

県立春日公園での自然観察会(158 回)

日時: 2025年2月15日(土)10時から12時まで
 集合場所: 公園の中央付近にある自然あそび館



春日公園2025年 2/4 日向ぼっかな 撮影: 田字草

「問い合わせ先」 担当: 田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村の携帯)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

問い合わせ先澤田（090-5380-1779）

2月16日（日）3月16日（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時 間：9：00～12：00 集 合：天拝山歴史自然公園	2月23日（日）3月23日（日） 久末ダム探鳥会（福津市） 時 間 9：00～12：00 集 合：久末ダム多目的広場横 駐車場（管理事務所下）	3月2日（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時 間：9：00～12：00 集 合：玄洋高校西側道路
3月8日（土） 大濠公園（福岡市） 時 間：9：00～12：00 集 合：ボート乗り場前	3月9日（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時 間：9：00～12：00 集 合：JR 和白駅前の公園	3月4日（火） 県営春日公園（春日市） 時 間：10：00～12：00 集 合：音楽堂ステージ側（第5P）

日本野鳥の会 筑後支部

問合せ：090-4357-3043（溝田）
（時間などまだ発表がありません。参加される方は前もってご確認ください。）

福岡植物友の会

2月16日（日）水城址（西門）
詳細は問合せください。
中小路 香（092-864-7585）



アオバト 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

久留米の自然を守る会

3月1日（第1土曜日）
集 合：九州歴史資料館
第1駐車場
時 間：9：30～12：00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索

2月8日（土）
総会と記念講演会
集 合：くるめウス
時 間：13：30～ その後講演会
詳細はお問い合わせください。
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）



フキノトウ 三国・松永

和白干潟を守る会

2025年2月22日（土）
定例会議
時 間：12：00～14：00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2025年2月22日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15：00～17：00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



日本野鳥の会 福岡支部 主催
三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

2025年1月 私のデジカメ日誌より

今回は、1月1日(旧暦12月2日)～1月31日(旧暦1月3日) までの
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



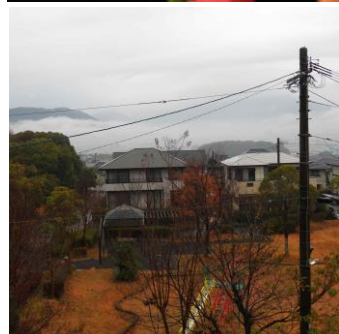
今年もよろしくお願ひいたします
齢を取ると頭も目も足も腰も何もかも
思う様にはなりません、この世にある限り
自然の中に居たいと思います



1/1(旧 12/2)中央区春吉
福岡の中心街。昨年の火災で出来た小さなギャップに、ジョウビタキ♀。この辺りも開発の対象だ。



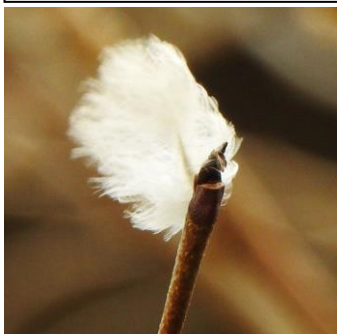
1/5(旧 12/6)筑紫野市天拝坂
北海道の空港に着陸する時の原野の景色のようだ。地衣類の色や形は、コナラの幹のフラクタル。



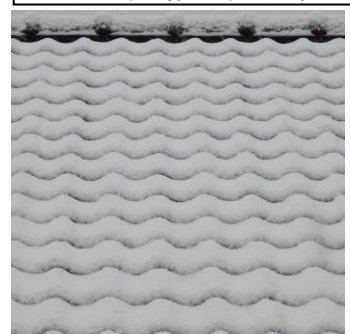
1/6(旧 12/7)筑紫野市天拝坂
深夜に雨が降り、明け方には5度台に冷え込んだ。二日市地狭帯は雲の中にあった。



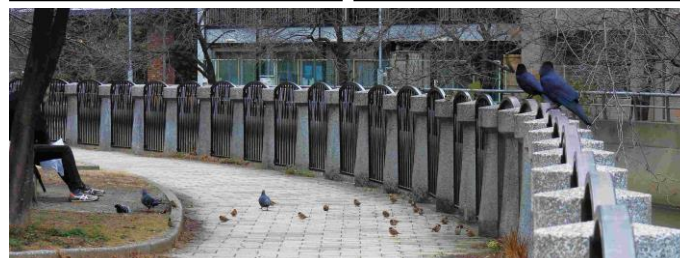
1/7(旧 12/8)筑紫野市天拝坂
カワラヒワがサルスベリの実を採餌。江戸初期に渡来する前はシヤラをサルスベリとよんだと・・



1/7(旧 12/8)筑紫野市天拝坂
ヤマボウシの冬芽に2cm程の白い羽毛。図鑑で探すとイソヒヨドリの小雨覆のようだが・・



1/9(旧 12/10)筑紫野市天拝坂
この日から翌日にかけ断続的に小雪が降った。北日本に比べたら申し訳ない程の量です。



1/16(旧 12/17)中央区天神中央公園
上)左のベンチの青年が野鳥に餌をやっている。彼の前には実に30羽。韓国の旅行者の様だった。 左)那珂川の西大橋の橋の上と下。通行人から下のアオサギは見えない。



1/17(旧 12/18)筑紫野市天拝坂
バス道路の法面に、ナワシログミの実が膨らみ始めていた。秋に咲いた花ガラがドライフラワーのようだ。



1/21(旧 12/22)筑紫野市古賀
オカヨシガモの二番いが来ていた。淡水ガモなので水中で届く範囲の餌をとる。採餌中のお尻が面白い。



1/21(旧 12/22)筑紫野市武蔵天拝公園
久しぶりにルリビタキみに出会った。(左)その近所でリュウキュウサンショウクイの特徴を持つが褐色味の強い鳥に会った。？が残る。(上



1/22(旧 12/23)筑紫野市天拝坂
半月穂前に県道沿いではロウバイが満開であった。隣家の花はやっと開き始めた。ここが標高100m というのと同関係あるのか。



1/28(旧 12/29)中央区大濠公園
中国の春節で来ているのか旅行者の親子が野鳥へ餌やりで夢中だ。対象がオオバン、ユリカモメ、ダイサギというのが面白い。

春日公園自然観察会 令和7年1月18日(土)【参加者7人】【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～噴水広場とその周り、自然風庭園の森を経て自然あそび館にもどった。

観察内容 曇り、7℃で開始。今回は木々の冬芽に注目しつつ散策した。

植物 ウチワゼニクサ、タネツケバナ、ナワシログミ、ソメイヨシノ、ユズリハ、ヒメユズリハ、ウメ、アジサイ、イチョウ、サザンカ(花)、ラクウショウウ(沼杉)、アメリカカワウ、タイワンフウ、メタセコイヤ、シナマンサク、サンシュユ、ユキヤナギ、レンギョウ、ハナミズキ、ロウバイ、ハクウンボク、モミジ、サンゴジュ。

野鳥 マガモ、ダイサギ、コサギ、カワウ、スズメ、メジロ、モズ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、キジバト、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、アトリ、ハクセキレイ、アヒル、カワラバト。

感想(参加者、その場の声)

- ・冬の楽しみを発見できた。楽しかった。
- ・ユズリハとヒメユズリハの違いを冬芽で観察できた。
- ・サルスベリの実を盛んに食べるアトリの群れ(8羽)に出会えた。
- ・絵本「冬芽がっしょうだん」と同じように楽しめた。
- ・紅葉の色が、まだ楽しめた。

観察会の様子



アジサイの冬芽



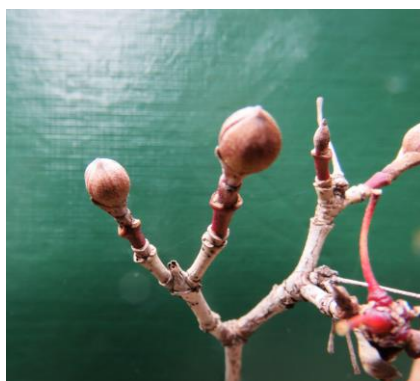
サルスベリの実を食べるアトリ



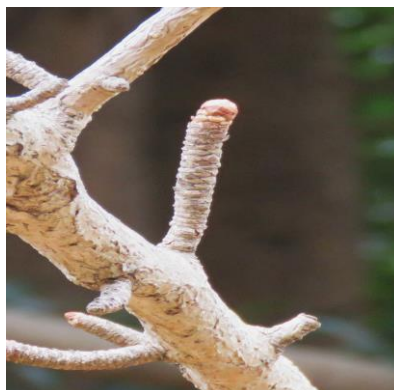
ソメイヨシノの冬芽



サンシュユの冬芽



イチョウの冬芽



レンギョウの花一輪見かけた。



レンギョウの冬芽



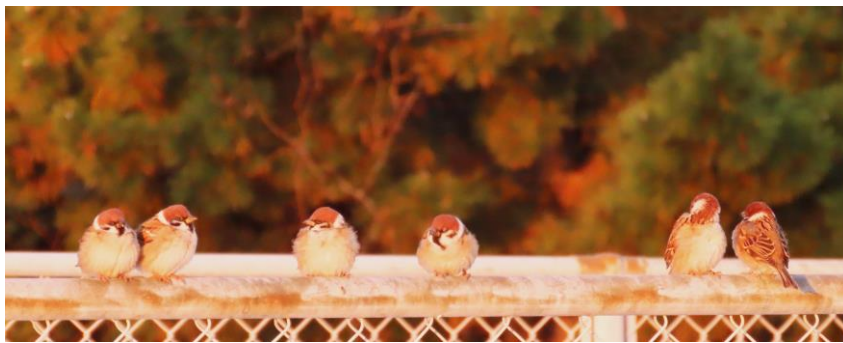
以上

会員からの投稿 (1) 秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中

雁ノ巣から初日の出と和白海域



朝日を浴びるスズメたち



マガモとツクシガモとオオバン



この実、メジロの嘴にちょうどいい センダンの木で休息するトビ



大きなゴミの傍で採食中のタシギ達



以上

会員からの投稿 (2) 志賀壮史

月に1回「まちなか森のガイドウォーク」

毎月第2土曜の10-12時に「まちなか森のガイドウォーク」を行っています。

3月8日のタイトルは「橋本駅発着、室見川河畔と“きずなの木”」です。ご興味ある方はぜひ！詳細はこちらです。

<http://www.greencity-f.org/17104789121476>

(写真は12/14の愛宕の回)



会員からの投稿（3） 田村耕作

2025年1月30日の城南区樋井川、冬の様子です。 もうノジスミレの花開花、種が拡散中のフヨウ



ヒメガマも種拡散中、河原では菜の花が咲き始めました。百舌鳥が獲物探し中。



会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2024年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円 郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 **01760-9-15783**

定例会に参加してみませんか

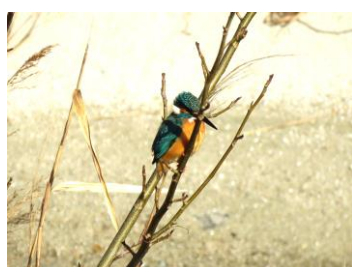
次回の定例会は、**令和7年3月14日（金）午後2時**より事務局で行います。令和7年3月号の原稿は、3/11（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2025年1月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

2025年1/31 福岡市城南区を流れる樋井川で、野鳥や草花を楽しみつつ歩いていました。別府橋の少し上流で、潮の引いた砂地に、バナナを1本見かけました。中身のある新しそうなものでした。なぜ、ここにとの疑問とともに、なんともったいないと感じました。私にとって、子供の頃高級な食べものでした。世の中、変わってきているとしても、ほとんどが外国からの輸入品です。

生産地から運ばれ、いろいろな流通を経て、私たちが食べるまで、人の手とエネルギーが使われるのに、「もったいない」。食べもの、いろいろなものをもっと大切にすること、そんな気風を育てたいと思いました。

傍でカワセミが食べものを探しかな。



2025年1/31 樋井川 別府橋の上流側で撮影